



〔事務所・施設・店舗用〕

三菱ダクト用換気扇中間取付形ダクトファン

形名
V-30ZMS <sub>5</sub> ・V-35ZMS <sub>5</sub> ・V-35ZMPS <sub>5</sub>

据付説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁・穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は事務所・施設・店舗の天井裏および壁内に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチおよび吸込グリルが必要で、その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は、組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の銅板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止	分解禁止	浴室での使用禁止	感電注意	指示に従う
----	-------	------	----------	------	-------

**警告**

禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。	感電注意	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。	指示に従う	●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用した場合に感電の原因。
分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合に感電・火災の原因。

**注意**

禁止	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。	指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
禁止	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 部品の落下によるけがの原因。		●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実にを行う 落下によるけがの原因。
禁止	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実にを行う 落下によるけがの原因。
浴室での使用禁止	●浴室など湿気が多い場所には据付けない ショート・感電の原因。		●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2.据付け前のお願い

**注意**

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない  
部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない  
部品の落下によるけがの原因。

**お願い**

メンテナンスが行えるように点検口（□450mm）を必ず設けてください。  
製品の取替えを考慮される場合には、製品取替えに十分な点検口をご用意ください。  
●点検口がない場合の本体修理などで、天井などを壊す場合の費用はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

**据付けにあたって**

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けないでください。振動、異常音の原因となります。
- モーター取付面を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

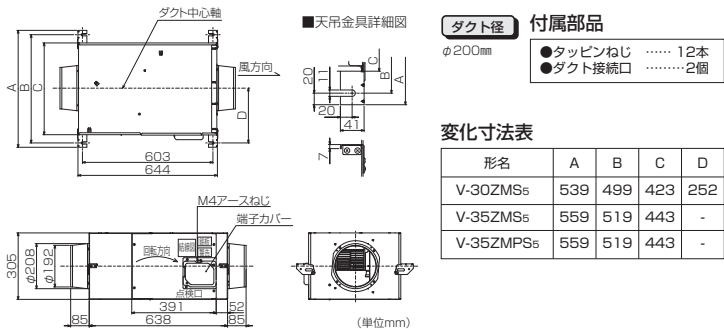
**据付場所**

- 騒音を重視する寝室などに吸込グリルを据付ける場合は、別売システム部材のフレキシサイレンサーまたは中間取付形スレートサイレンサーを使用すると約10dBの消音効果があります。

**天井・ダクト工事**

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ
  - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
  - しぼり

3.外形寸法図



4.据付方法

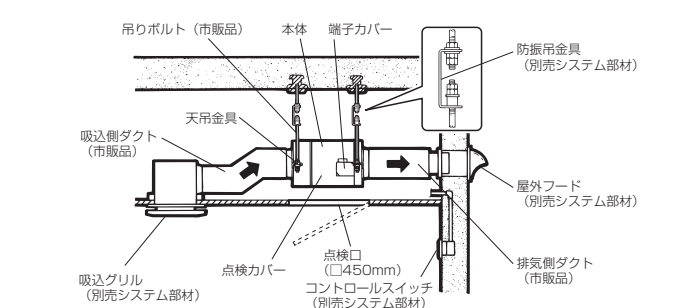
1 据付け前の準備

本体の据付位置・吸込方向・排気方向を決める。

- メモ**
- 吸込グリルを寝室に据付ける場合、吸込ダクトに消音効果のあるフレキシサイレンサーを使用することをおすすめします。
  - 天地逆取付けが可能です。
  - 垂直据付け（製品縦据付け）が可能です。据付時は必ず製品本体を金具などでささえてください。
  - モーター軸垂直据付け（点検カバーが上向きまたは下向き）はできません。

**据付例**

**メモ** ●下図の天地逆にも据付けられます。



**2 天吊金具（4か所）を製品に固定する。**

- (1) 天吊金具のねじをゆるめる。
- (2) ゆるめたねじを中心に天吊金具を90度回転させ、水平にする。
- (3) ゆるめたねじおよび付属のタッピンねじで製品にしっかりと締め付け、固定する。  
※タッピンねじは、ダクト接続口に同梱しています。  
※天吊金具は工場出荷時本体にたたんだ状態で固定されています。

**3**

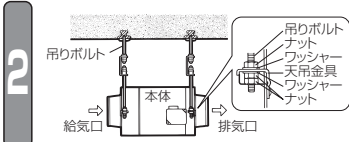
ダクト接続口 本体 排気口 付属のタッピンねじ

製品本体の排気口にダクト接続口を付属のタッピンねじ（4本）を使用して、取付ける。  
※タッピンねじは、ダクト接続口に同梱しています。  
（タッピンねじはくり返し締め付けを行うと、ねじ山がつぶれてしまう可能性があります）

## 2 本体を吊る

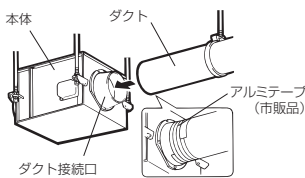


外形寸法図の天吊金具据付位置を参照して市販の吊りボルトを埋込む。



製品が水平になるように製品を吊りボルトに据付ける。  
市販のワッシャー・ナット (M10) を使用し、締め付けます。  
※ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。

## 3 ダクト接続



(1) 本体から壁排気穴・吸込グリル位置までダクト配管し、ダクトを天井から吊る。

### お願い

●ダクト接続口に力が加わらないように、ダクトを吊ってください。  
(力が加わると、風漏れの原因となります)

(2) 給気口側・排気口側ともにダクト接続口にダクトをしっかり差し込み、市販のリベットまたはねじなどで固定し、風漏れないよう市販のアルミテープでテーピングする。

## 4 電気工事

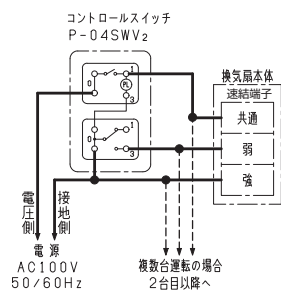
電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

### ■ 結線図 (太線部分を結線する)

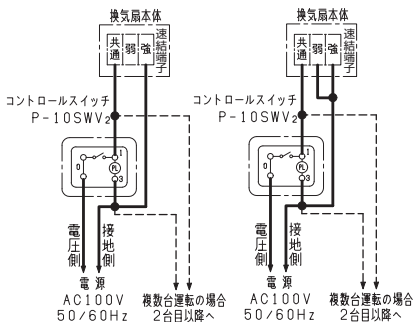
#### お願い

●結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用 (交換部品代含む) はお客様のご負担となりますので結線図を十分に確認の上、結線してください。  
●結線図の●の部分の接続部は市販のジョイントボックスに収めてください。

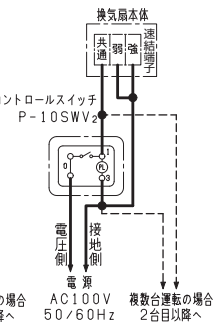
#### ● 強・弱切替運転の場合



#### ● 強運転のみの場合



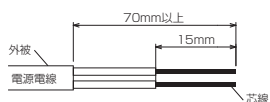
#### ● 弱運転のみの場合



### ■ 適応コントロールスイッチ

運転方法	形名	定格
強・弱切替運転	P-04SW2	15A-AC300V
強運転または弱運転	P-10SW2	15A-AC300V

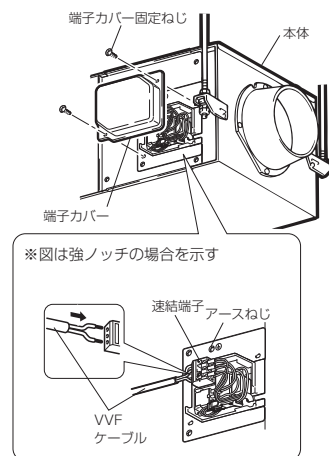
### ■ 結線の前に



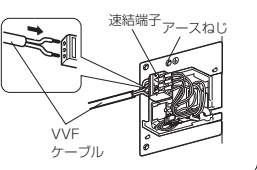
#### お願い

●電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。  
●電線被ふくは15mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です (15mm以上むくと漏電の原因となります)

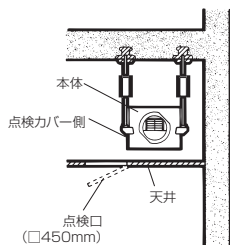
### ■ 結線をする



※図は強ノッチの場合を示す



## 5 天井材を張る



左図のようにモーターと電源電線接続部のメンテナンスができる位置に保守点検口を設ける。

#### お願い

●メンテナンスが行えるように、保守点検口 (□450mm) を必ず設けてください。(製品取替えを考慮される場合、製品取替えに十分な点検口をご用意ください)  
点検口が設置されていない場合、無償保証期間内であっても製品修理するために必要となる天井やその他の取り壊しおよび修理費用はお客様のご負担となります。

## 6 吸込グリルの据付け

別売システム部材または市販のグリルを据付ける。据付方法は部材に同梱の据付説明書をご覧ください。

## 5. 試運転およびお客様への説明

●コントロールスイッチがある場合は、切/入、強/弱切替えが正しくできるか確認してください。  
●異常な音や振動がないか確認してください。

お客様への説明 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者 (オーナー、ゼネコン) または管理者に説明してください。

## 6. 修理を依頼する前に

■ 試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
●電源スイッチを入れても羽根が回転しない ●強/弱どちらかが動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている  正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする  結線を確認する (スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※ <b>4 電気工事</b> を確認する  特に弱運転をご使用される場合は結線間違いにご注意ください。
●運転中に異常な音や振動がする ●吸込グリルから吸込まない	本体・吸込グリルが確実に据付けられていない 羽根・吸込グリルに異物が付着している 本体の固定が弱い 換気風路の抵抗が大きい (ガラリ・アンダーカット) 換気風路の抵抗が大きい (ダクト配管) 換気風路の抵抗が大きい (屋外フード)	正しく据付け直す 異物を取り除く 本体の固定を確認する ガラリ・アンダーカットを開けて給気する ダクトのつづれ、急な曲がりを修正する 屋外フードのほこりを清掃する (特にリフォーム時)